

尾鍋社長(尾鍋組)が本出版

エコジョ工法 環境に優しい地盤改良実現



2010年12月4日(土)
エコジョ工法設立総会



苦難の連続だった開発の道のりを映像も交えて紹介する尾鍋社長＝中央町のフレックスホテルで

元気で躍進
地域経済



発行所
夕刊三重新聞社
〒515-0821 三重県松阪市外五曲町15
代表 (0598) 21-6113
FAX (0598) 21-8500
登録集配通 (0598) 21-6362
電子メール info@yukanime.com
郵便振替口座 00810-9-13245
夕刊三重トラスト
代表 (0598) 21-9700

松阪市飯高町宮前の(株)尾鍋組の尾鍋哲也代表取締役社長(59)が「住宅地盤イノベーション」地方の土木会社が挑んだ17年の軌跡(四六判、185頁)を執筆し、4日午後3時から同市中央町のフレックスホテルで出版記念発表会を開いた。三重大学と共同開発し、全国の54代理店によって施工されている地球にやさしい地盤改良「エコジョ工法」の歩みを振り返る内容で、関係者ら約35人が祝いに駆け付けた。

エコジョ工法は、一般的な地盤改良に使われるコンクリートやくいを一切使わず、自然素材の碎石を地中に掘った穴の中に詰め込んで円柱状に固め、くいの代わりにする工法。地中に人工物を残さないため環境負荷が少なく、土地の価値を下げず、国連のSDGs(持続可能な開発目標)にも合致。北海道と沖縄県を除く全国の施工代理店に採用されている。

地方の土木会社が挑んだ17年の軌跡
住宅地盤イノベーション

出版された「住宅地盤イノベーション」

同書は同工法開発の段階にさかのぼり、尾鍋さんを開発に駆り立てた出来事や、難局にぶつかると共に乗り越えてきた多くの協力者との出会いをたどる。この日は、開発を支えてきたそれらの人々も登壇して、苦難の連続だった道のりを語った。

同工法誕生のきっかけとなった別の工法の施工代理店時代に出会った経営コンサルタントの大槻恭久・タイスイビロー(代表取締役(53))は、尾鍋さんの粘り腰と勉強家ぶりをたたえつつ、「韓国、台湾、インドネシアなど地震の多い国は多いが、それらの国にこうした地盤改良のノウハウはない。今後は海外へ目を向け、海外市場を視野に展開を図ってもらいたい」とエール。

開発してきたシンエィテック(株)(四日市市)の森芳春代表取締役会長(71)は「会う度に言い合い、普通のお客さんは協ししてくれるが尾鍋さんは要協しない。何考えとんのやと本気で思いましたと、その頑固さを冗談交じりに語った。

森社長との出会いの3カ月後に出会った三重大学院の酒井俊典教授(62)は「誰も見ることのできない地盤の中を掘る機械を造るに当たり、私の研究スキルも上がったが、尾鍋さんがむちゃぶりするので森社長も大変だったと思う。私も面白かったが、大変な目に遭った」と言い、「尾鍋さんが『こんな造りた』と言って模型を作った森社長に『この通り造って』という1週間後にできて。が、10分掘って駄目の繰り返し。その労力を惜しまなかった」と労をねぎらった。